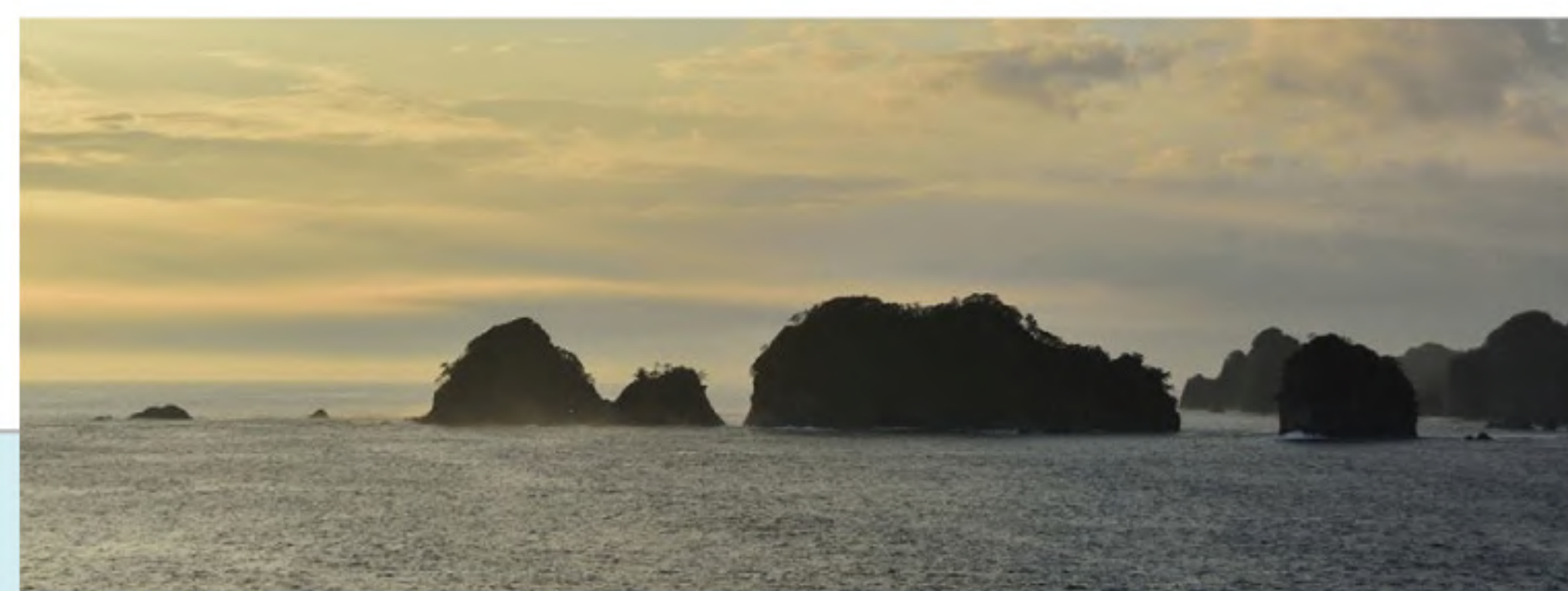


堂ヶ島トンボロマップ



三四郎島の風景



陸地側から「伝兵衛島・中ノ島・沖ノ瀬島・高島」4つの島が見えるポイントで3つの島や4つの島に見えることから三四郎島

高島

沖ノ瀬島

中ノ島

洞窟巡り遊覧船

断崖絶壁や雄大な海原、三四郎島
フィナーレは天窓洞の中にイン。
一周 20 分の船旅です。一見の価値あります



天窓洞

遊覧船で洞窟に入れば天井がぽっかりと抜け光が射し込むまさに天窓。季節や時間帯で色が変化する海面がとても素敵です



上から見た天窓洞



伊豆自然学校

天窓洞

堂ヶ島園地

観光案内所
堂ヶ島バス停

シーサイド
堂ヶ島

P



加山雄三ミュージアム

コースタイム

●堂ヶ島バス停～●瀬浜海岸:「」を歩いて約15分
瀬浜海岸トンボロ渡り往復:約30分

堂ヶ島トンボロ道案内公開中!!



堂ヶ島トンボロ 道案内

検索 

潮位カレンダー(西伊豆町HP)→

潮位30cm以下:トンボロ渡れる可能性 大
潮位30~50cm: " 小

トンボロ 潮位

検索 



瀬浜海岸(トンボロ)
降り口

H 海辺の隠れ湯
清流

P 無料駐車スペース
(国道路側帯白線内)

注意:こちらの降り口からは
トンボロへ行きません



階段

P 無料駐車場
(国道脇 5 台可)

H 堂ヶ島温泉ホテル

●瀬浜海岸

トンボロ現象

象島(伝兵衛島)

象が座った姿に見えることからネーミング。太古に溶岩が流れ出してできた柱状節理を観察できます。見あげると大迫力!

トンボロ現象



とても珍しい場所です。干潮時間帯に浜と島の間に道が現れ歩いて渡ることができます。左右の海は天草やサザエなどの漁場になっており海女さん達が潜っていることも。島の裏にある潮だまりでは磯の生物観察もできます

トンボロ渡り

干潮時 30cm 以上潮が引く時に象島まで足を濡らさずに渡れます。事前に干潮時間帯と潮汐をチェックしてください。満潮になってしまうと戻れませんので注意。波がある日などは渡れません。また岩が濡れていると大変滑りやすくなります。サンダル履きはケガしやすいため避けましょう

潮だまり



堂々島 瀬浜海岸 トンボロしおだまり水族館



【魚のなかま】

メジナ



ナベカ



ボラ



カゴカキダイ



ソラスズメダイ



アゴハゼ



チョウチョウウオ



ハタタテダイ



オオスジイシモチ



【カニ・エビのなかま】

イワガニ



ヤドカリ



イソクズガニ



イボイワオウギガニ



イソスジエビ



カメノテ



【貝のなかま】

ヒザラガイ



イシダタミガイ



マツバガイ



マガキ



ウノアシガイ



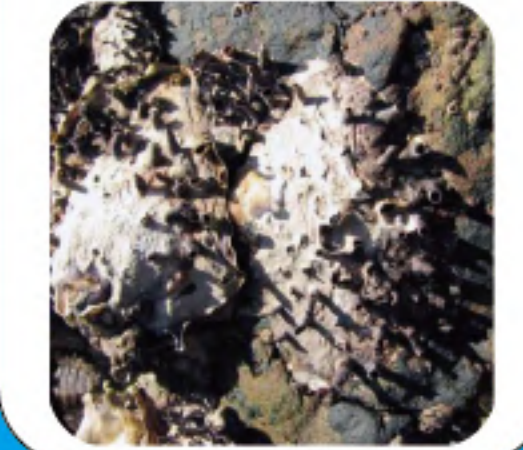
レイシガイ



アマオブネガイ



ケガキ



オオヘビガイ



イボニシ



イボニシの卵



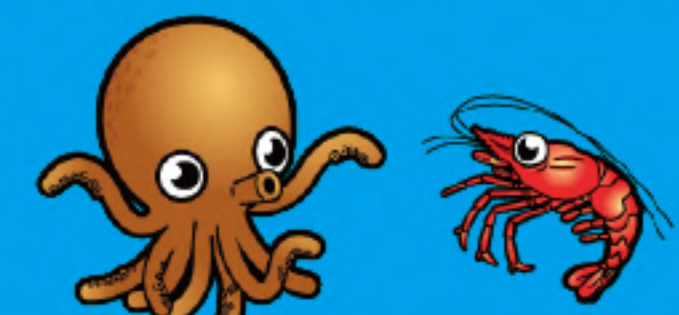
マガキガイ



三四郎島のしおだまり

しおだまりとは、潮が引いたあとに残る岩礁などの水たまり。タイドプールと呼びます。自然のプールには、取り残された海の生物たちがいっぱい。

探してみてね。



【そのほかの生きもの】

バフンウニ



ムラサキウニ



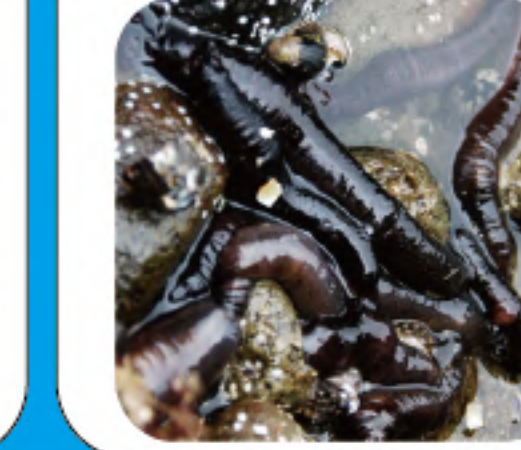
タコノマクラ



ヤッコカンザシ



クルマナマコ



ガンガゼ



ウメホシイソギンチャク



ヨロイイソギンチャク



タデマイソギンチャク



ヤツデヒトデ



アメフラシ



クモヒトデ



注意事項

- ◎ トンボロや潮だまりは、すべりやすい磯場です。そして鋭い角をもったカキやフジツボがついてますので、必ず靴をはいて下さい。
- ◎ 帽子や白っぽい服装、十分な水分をご用意して熱中症の予防対策に万全を期して下さい。
- ◎ 海の生き物は、家で育てることは不可能なので、お帰りの際は戻してあげて下さい。そしてまた会いに来て下さい。
- ◎ ドクロマークのある生き物は、毒やトゲなどがありますので特にご注意下さい。
- ◎ 周りの様子を定期的にチェックして下さい。潮が満ちてきたり、トンボロが狭くなり始めたらすぐ浜に戻して下さい。